

地域で災害に備えよう

自主防災組織とは

大地震や風水害等の災害が発生した場合、被害を少なくする上で大切なのは、地域における自主防災組織の活動です。自主防災組織とは、小田原市においては自治会単位で結成されており、地域住民が自主的に連携して防災活動を行う組織です。市民の皆さんは地域の自主防災組織に加入し、積極的にその活動に参加しましょう。

自主防災組織の活動

平常時

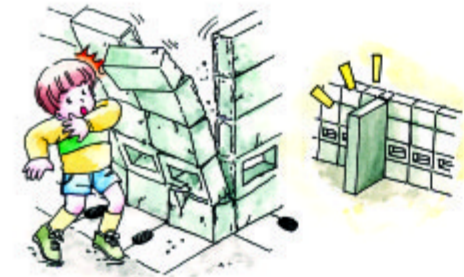
◆防災知識の普及

住民全員が防災に関する正確な知識を持つことができるように、みんなが参加できる催しなどを開催し、継続的に防災知識の普及を行っていくことが大切です。



◆危険箇所の点検

発災時に被害の発生や拡大の原因となるようなものは日頃から点検しておく必要があります。お住まいの地域の危険箇所を確認しておきましょう。



◆防災訓練の実施

いざというときに的確な行動を起こすためには、訓練を繰り返し行い、その行動を身につける必要があります。お住まいの地域や市、消防署などの訓練に積極的に参加しましょう。



◆防災資機材の整備

地域の実情に応じて、災害時に活動するために必要な機材を準備して公民館や集会所等に防災倉庫を設けて保管しておきましょう。



災害時

◆初期消火

出火防止のための活動や消防署、消防団がくるまでの間の初期消火を行ないます。拡大して危険になった場合には、活動を中止して避難しましょう。



◆情報の収集・伝達

的確な対策をとるために被害状況や火災の発生状況を取りまとめるとともに、防災機関からの災害に関する正しい情報を住民に伝えます。



◆救出・救助活動

大地震のときには消防や救急が十分に活動できないことが考えられます。防災資機材を活用して、周囲の人と協力して、下敷きになった人の救出・救助活動を行いましょう。負傷者には応急手当てをして、救護所へ搬送しましょう。



◆避難誘導活動

避難の勧告や指示が出されたら避難経路の安全を確認し、お年寄りや障害のある方の避難に協力して住民を避難所へ誘導しましょう。災害の状況によっては、避難経路が変わりますので、お互いに助け合って全員がまとまって避難をしましょう。

